

単元名	年組番	68問
歴史的分野 縄文時代～江戸時代	氏名	

次の縄文から江戸時代の()にあてはまる答えを語群より選びなさい。

◆縄文時代



約1万5000年前の氷河の終わり頃、西アジアでは乾燥化が進み、人類は狩猟・採集の生活から、定住してムギやマメを栽培して(①)を始め、ヤギやヒツジを飼って(②)を始めた。



その後、紀元前3300年頃から、メソポタミア・エジプト・インド・中国の大河流域で(③)がおこった。

日本では縄文土器を使う縄文時代が約1万3000年続いた。

◆弥生時代



人類が現れてから、宗教は自然との関わりの中で人々とともにあった。しかし、紀元前1000年頃から、文明の混乱や交代が始まり、その中で人々や国の救済を説き、人々の生き方や平等を説く宗教が現れた。紀元前6世紀頃、インドでは(④)がバラモン教の教えを批判して仏教を開いた。

また、1世紀の初めには、パレスチナに(⑤)が現れ、その教えはキリスト教としてローマ帝国の国教になった。

同じ頃、日本では大陸から伝わった(⑥)が発達し、西日本を中心に広まった。

この頃、政治的にまとまりをもった小国が各地に生まれ、中国の歴史書『魏志』の倭人伝には、「倭国には争いがたえなかったが、邪馬台国の女王(⑦)を王にしてようやくおさまった。」と書かれている。



◆古墳時代

日本では、3世紀後半から4世紀にかけて前方後円墳とよばれる大型の古墳がつくられ、各地に強大な権力をもつ王が存在していた。この王たちがつくった政権を(⑧)という。

この頃、朝鮮半島と交流をもったため、製鉄技術などが日本に伝えられ、(⑨)とよばれる一族でまとまって移り住む人々も現れた。

(⑨)は、日本列島各地に住み、土木・建築、馬具や金属加工、高級な絹織物、須恵器をつくる技術を伝えた。また、漢字・儒教・(⑩)なども伝えた。



【解答欄】

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

◆飛鳥時代

ヤマト王権の中で豪族どうしの争いが続き、蘇我氏が権力を握った。593年、蘇我氏と結んだ(11)は、推古天皇を助けて(12)を制定して役人の心がまえを示すなど、天皇を中心とする国家のしくみを整えようとした。

同じ時期に中国では、(13)が滅んで(14)がおこり、ヤマト王権は(14)と国交を結んだ。(14)にならい、天皇家が主導権をもつ国家をつくるため、のちに天智天皇となる(15)は、中臣鎌足とともに蘇我氏を倒して政権をにぎり、(16)とよばれる政治改革を行った。



701年には、(14)の律令をもとに(17)が定められ、律令国家の形が整えられた。

同じ時期、アラビア半島では、(18)がイスラム教を開き、すべての人は平等であり、神の教えをきびしく守って生きるように説いた。

◆奈良時代



710年、都が藤原京から(19)に移され、多くの寺院も移された。聖武天皇は、(10)の教えにより国家を守り、政治を安定させようと考え、(20)に大仏を建立した。

朝廷は律令に基づいて戸籍をつくり、6歳以上の男女に農地(口分田)を割り当てる(21)を行った。

◆平安時代◆

8世紀後半、皇族と中臣鎌足の子孫である藤原氏との勢力争いがくり返され、寺院の僧侶が政治に口出しすることが多くなったため、桓武天皇は奈良に寺院を残したまま都を長岡京に移し、その後の794年には、京都に移して(22)と名付けた。

9世紀中頃から藤原氏が他の貴族をしりぞけながら力を伸ばし、娘を天皇のきさきにして、政治の実権を握り(23)政治行う。

しかし、11世紀中頃には、藤原氏と血縁関係がうすい後三条天皇が政治の実権をとりもどそうとし、次の白河天皇は、上皇となっても摂政や関白をおさえて政治を行い続け(24)とよばれた。同じ時期、各地の豪族が土地をめぐる争いから武装し、中でも弓矢や騎馬などの武芸に優れた者は、朝廷や地方の国司の警備や護衛を行い(25)とよばれた。貴族の間では、日本の風土やくらしに合った(26)文化が生まれ、漢字を簡単にした(27)がつくられた。



【解答欄】

(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
(21)	(22)	(23)	(24)	(25)
(26)	(27)			

◆鎌倉時代◆



源平の内乱の後、勝利した(28)は1192年、征夷大將軍となり鎌倉に(29)幕府を開いた。(28)の死後、北条氏が政治の実権をにぎり、(30)という地位について政治を行った。

1206年、中国では、(31)がモンゴル民族を統一し、その後、フビライ=ハンが元を建国した。宋を滅ぼし中国を統一した元は、1274年、1781年の2度にわたり日本を攻撃した。この元軍の襲来を(32)という。これにより社会は不安定になり、鎌倉幕府はおとろえた。



◆室町時代◆

鎌倉幕府のおとろえを知った(33)天皇は、幕府の政治に不満をもつ武士によびかけ討幕の兵をあげた。それに応じた有力な御家人・(34)や新田義貞らが幕府をほろぼした。

(33)は、(35)という天皇を中心とした新しい政治を行ったが、公家を重視する政治に武士が不満をもつなどしたため、(34)は(33)に代わる新しい天皇を立て、征夷大將軍となって(36)幕府を開いた。

(36)幕府は、3代將軍・(37)の時代に最盛期を迎えたが、8代將軍の死後、あとつぎを守護大名どうしの対立が深まって、1467年に京都で(38)がおこった。戦乱は全国に広がり、各地の守護大名が領地拡大のために戦ったり、家臣にたおされたりする(39)の風潮が高まって、(36)幕府はおとろえた。

同じ時期、ヨーロッパでは、コロンブスや世界一周を目指した(40)などが航路を開拓し、海外への進出をはじめた。これを大航海時代という。また、免罪符を販売したローマ教皇の方針に反対したドイツの(41)たちは、(42)改革を始めた。



◆安土桃山時代◆

16世紀中頃、全国を支配しようとする大名が現れ、中でも(43)は、有力な大名をたおして京都にのぼり、1573年、將軍を京都から追放して(36)をほろぼした。その後、(43)は、家臣の裏切りによって自害するが、家臣の(44)は、1590年に全国を統一し、関白の地位につき、田畑の面積や収穫量を調べる(45)や(46)を行い、支配の仕組みを整えた。



【解答欄】

②⑧	②⑨	③⑩		
③①	③②	③③	③④	③⑤
③⑥	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩
④①	④②	④③	④④	④⑤
④⑥				

◆江戸時代◆

1600年、(47)に勝利した(48)は、1603年、征夷大将軍となり(49)幕府を開いた。3代将軍・徳川家光の時代には、諸外国との交流が制限された(50)の制度が完成する。

江戸時代は、社会の変化にともなって改革が進められ、1716年、8代将軍・徳川(51)は(52)の改革、1787年、老中(53)は(54)の改革、1841年、老中(55)は(56)の改革を行った。



しかし、18世紀中頃からロシア・イギリス・アメリカなどの外国船の接近や蘭学者による幕府の対外政策の批判などもあり、幕府政治はおとろえを見せ始めた。そのような中で、アメリカの使節(57)が浦賀沖に現れ、幕府に(58)をせまった。幕府は、1854年に(59)条約、1858年に(60)条約を結び、200年以上続いた(50)が終わった。

(58)により、日本の政治や経済は外国からの圧迫を受け社会は不安定になり、薩摩藩と長州藩は同盟を結び、幕府を倒す計画を進めた。このような中、15代将軍・徳川(61)は政権を天皇に返すことを申し出た。これを(62)という。これに対して朝廷は、(63)を発表して、天皇中心の新政府の成立を宣言した。これにより、約260年続いた(49)幕府は滅んだ。ヨーロッパでは、17世紀中頃におきた最初の(64)の影響で1776年にはアメリカで(65)宣言が出され、アメリカ合衆国が成立した。また、1789年には、(66)革命が起こり、(67)宣言が出され、民主政治が誕生した。同じ時期、機械の発明や改良が続き、社会は大きく変化した。これを(68)革命という。

【解答欄】

④7	④8	④9	⑤0	51
52	53	54	55	56
57	58	59	60	61
62	63	64	65	66
67	68			

【語群】

市民革命	かな文字	マゼラン	王政復古の大号令	中大兄皇子	江戸	唐	隋
ペリー	寛政	イエス	大政奉還	豊臣秀吉	聖徳太子	鎌倉	元寇
日米修好通商	建武の新政	松平定信	班田収授	平城京	卑弥呼	織田信長	仏教
撰関	日米和親	下剋上	徳川家康	大宝律令	足利尊氏	享保	牧畜
チンギス=ハン	フランス革命	関ヶ原の戦い	十七条憲法	四大文明	稲作	渡来人	
宗教	院政	人権宣言	シャカ	開国	足利義満	吉宗	応仁の乱
東大寺	農耕	ヤマト王権	産業革命	ルター	後醍醐	執権	刀狩
慶喜	国風	水野忠邦	源頼朝	鎖国	大化の改新	室町	武士
独立							太閤検地